

団体名 渡名喜村立渡名喜中学校	連絡先 TEL: 098-989-2005 Eメール: tonaki-cyuu@tonaki.ed.jp
---------------------------	---

1 実践事項 (②カリキュラムマネジメント 教科横断的な取組等)
「自ら進んで考える力を身につけた生徒の育成」

2 実践内容

<自ら進んで考える力の育成に向けた取組>

① 基礎・基本の確実な定着

- 自ら進んで考える力を育むためには、これまでに身につけた知識・技能を生かして思考・判断・表現することが重要である。本校の実態として、既習の知識・技能の定着に課題のあるため、以下の取組を実践している。

イ) 毎週木曜日放課後のチャレンジタイム

- ・ 苦手克服のため、10問程度の暗記や計算問題を中心に行い、生徒は全問正解するまで挑戦する。

ロ) 定期テスト前に生徒の苦手克服のための補習指導

② 自学自習力の育成 (家庭学習の工夫)

- 家庭学習振り返りシートを活用し、日々の家庭学習の時間を記入し、教科のバランスや学習時間・学習内容等を自分でチェックして偏りがないように調整しながら学習する取組。
- 各教科担当が毎日確認し、評価やアドバイスをを行う。

3 説明資料 (家庭学習振り返りシートの一部)

★1週間の自宅で、学習した時間と内容を記入しよう。

月日	時間 内容	国語	数学	社会	理科	英語	その他	合計時間	生徒コメント
12/1	月	50分	50分	50分	50分	50分	50分	300分	問題を決めると自動的に勉強できました。
12/2	火	15分	20分	40分	20分	15分	0分	110分	少しづつ問題を全部勉強しました。good!!
12/3	水	20分	15分	15分	45分	0分	0分	95分	自分からやる気が湧いてきたので勉強しました。勉強が楽しくなりました。
12/4	木	40分	15分	20分	15分	15分	50分	155分	定着できたので良かった。早く勉強したいです。
12/5	金	40分	40分	20分	20分	10分	15分	145分	勉強が楽しくなりました。
12/6	土	20分	20分	50分	50分	0分	0分	140分	7-7までやることに決まりました。

○自分に必要な教科の学習内容を考えて取り組む。

○自ら計画し実践する力を育む手立てとして活用している。

4 成果

- チャレンジタイムでは全問正解まで何度でも問題に取り組むという環境から、こつこつ粘り強く取り組む生徒が増えている。
- 生徒アンケートでは、放課後補習が自分のためになっているという生徒が90%であり、生徒自身が達成感を感じている。
- 生徒どうしで教え合いの機会も増え、全体で取り組む姿も見られた。

5 課題

- 「問い」を生かした授業作りを組織的に実践する。
- 既習事項の定着を図るため、定期テスト等でも同じ内容をくり返し出題する必要がある。
- 知識・技能を活用する記述問題等に取り組む機会を増やす。